

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	就学事務支援システム導入事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	10	01	03	01	55
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校教育課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	遠藤 由樹				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	就学する児童・生徒	意図	就学事務の円滑化を図る
事業内容	児童・生徒の就学状況等が速やかに検索できる機能や管理の充実。			
事業開始から現在までの状況変化	従前は、児童・生徒のデータを紙台帳で管理し、転出、転入の通知書を手書きで処理していたが、システムの導入後は、電子データで管理し、出力できるようになり、事務の効率化を図ることができる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	委託業者との打ち合わせ	20	5	5	回	↑↑↑	
②	小学校の児童数	9,565	9,898	10,315	人	↑↑↑	5月1日現在	
③	中学校の生徒数	4,042	4,150	4,232	人	↑↑↑	5月1日現在	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 児童・生徒数は増加傾向にある。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,979,292	2,846,292	2,815,692				
事業費(b)(円)		1,473,292	1,473,292	1,473,292				
うち一般財源		1,473,292	1,473,292	1,473,292				
職員給与費(c)(円)		1,506,000	1,373,000	1,342,400				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	児童・生徒の就学事務を効率的かつ適切に実施する。	③取組の課題	今後とも電算処理による就学事務の効率化を図っていきたい。
②今年度(H29)に実施した取組	本事務事業は、法的にも必要不可欠なものであるが、さらに効率的な事務運営を再考した。	④今後(H30以降)の改善計画	就学事務については、学校教育法及び同法施行令で定められており、基本データは適正に処理されていることから、今後も電算処理による効率的な運営を図りたい。